



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	1,378	2.3	△70	—	△72	—	△78	—
28年6月期第1四半期	1,348	△7.2	△41	—	△49	—	△43	—

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 △78百万円(—%) 28年6月期第1四半期 △41百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	△19.27	—
28年6月期第1四半期	△10.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第1四半期	2,968	471	15.7
28年6月期	2,884	572	19.6

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 465百万円 28年6月期 565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	5.55	5.55
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	5.55	5.55

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日~平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	0.6	95	△25.0	105	△23.4	75	△0.5	18.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	5,076,000株	28年6月期	5,076,000株
29年6月期1Q	1,026,552株	28年6月期	1,026,552株
29年6月期1Q	4,049,448株	28年6月期1Q	4,220,248株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続いたものの、海外経済の景気減速懸念による株安、円高に伴う輸出企業の業績不振に加え、イギリスのEU離脱問題がわが国経済の不透明感に拍車をかける状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、葬儀の1件あたりの単価下落、直葬の増加傾向にある事業環境に対応すべく、「業界のコストリーダー」として生産規模や販売規模、原料調達などの物量を拡大させること等を基本方針とする中期経営計画のもと、各施策を実行してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,378,889千円（前年同期比2.3%増）、営業損失は生花卸売事業における組織再編等による販管費の増加により、70,278千円（前年同期は41,800千円の損失）、経常損失は72,002千円（前年同期は49,597千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は78,012千円（前年同期は43,184千円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、747,478千円（前年同期比0.6%増）となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成28年7月から平成28年8月までの売上高・取扱件数ともに横ばいで推移いたしましたが、この数年での傾向といたしましては、大都市圏を中心として葬儀単価は低下しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です。

このように葬儀業全体では市場は拡大傾向にありますが、葬儀業における各カテゴリー（葬祭専門事業者、冠婚葬祭業者、農業協同組合、新規参入事業者等）別や地域別にみるとその状況は均一ではありません。特定のカテゴリー事業者や地域では社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化が進んでおり、特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いております。このような状況の中で、当事業では売上拡大策として、千葉県成田市に成田営業所を新設（平成28年9月）、また一定の効果が顕在化した労務比率の改善に続き、仕入原価の更なるスリム化等にも取り組んでまいりました。この結果、営業利益は65,853千円（前年同期比42.7%増）となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は平成28年7月1日付で100%子会社であるマイ・サクセス株式会社へ会社分割し、従来より進めている業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っております。このような状況の下、売上高は409,342千円（前年同期比0.9%増）となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」（平成28年9月）によると、平成28年7月から平成28年9月までの切花累計の取扱金額は15,904百万円（前年同期比3.7%減）、数量では256百万本（前年同期比0.1%増）と金額ベースでは減少傾向、数量ベースでは横ばいの傾向にあります。

前述のとおりマイ・サクセス株式会社へ会社分割、従来の生花卸売事業（国内流通）と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力していることから、営業損失は30,571千円（前年同期は25,973千円の利益）となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は関東エリアにおける件数微減の影響もあり、96,849千円（前年同期比3.2%減）となりました。少子化と晩婚化、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、市場規模は縮小傾向にあるものの、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に未だ大きな市場規模が保持されております。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、大都市圏を中心とした店舗併設型の新規拠点開設や、式場との提携等、今後のブライダル装花事業の成長に向け各営業施策を実行しております。この結果、上記売上減及び、一部原価率の高い案件を受注した影響もあり、営業利益は380千円（前年同期比86.0%減）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、一般労働者派遣業、就労継続支援事業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、各事業ともに総じて回復基調にはあったものの、やや低調に推移し、売上高は125,218千円(前年同期比25.5%増)、営業損失は13,390千円(前年同期は30,831千円の損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の取得、処分、賃貸等の仲介及び管理を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ83,752千円増加し、2,968,136千円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ184,086千円増加し、2,496,228千円となりました。これは主に、長期借入金増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ100,333千円減少し、471,908千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期業績予想につきましては、平成28年8月12日発表の「平成28年6月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、決算日が3月31日であったマイ・サクセス株式会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っておりました。

この度、平成28年7月1日を効力発生日として当社の生花卸売(国内流通事業)を会社分割し、マイ・サクセス株式会社に承継したことを契機に、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、連結決算日に本決算に準じた仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第1四半期連結累計期間は平成28年4月1日から平成28年9月30日までの6ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,096,736	1,205,210
受取手形及び売掛金	595,632	580,060
商品	17,961	15,980
仕掛品	5,536	9,093
原材料及び貯蔵品	21,521	31,817
繰延税金資産	13,501	21,440
その他	125,781	101,302
貸倒引当金	△3,841	△5,686
流動資産合計	1,872,829	1,959,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	439,593	440,181
減価償却累計額	△199,265	△203,527
建物及び構築物(純額)	240,328	236,654
車両運搬具	110,320	110,481
減価償却累計額	△50,393	△49,120
車両運搬具(純額)	59,926	61,360
工具、器具及び備品	193,366	195,519
減価償却累計額	△164,073	△166,418
工具、器具及び備品(純額)	29,293	29,100
土地	200,859	200,859
その他	15,993	15,993
減価償却累計額	△3,597	△3,834
その他(純額)	12,396	12,158
有形固定資産合計	542,803	540,133
無形固定資産		
のれん	54,059	49,004
その他	32,928	41,904
無形固定資産合計	86,988	90,908
投資その他の資産		
投資不動産	16,145	16,145
差入保証金	165,694	160,167
繰延税金資産	25,479	16,171
その他	186,495	197,104
貸倒引当金	△12,052	△11,713
投資その他の資産合計	381,763	377,876
固定資産合計	1,011,555	1,008,919
資産合計	2,884,384	2,968,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	220,087	174,811
短期借入金	335,003	360,000
1年内返済予定の長期借入金	395,652	442,217
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	70,818	67,956
未払法人税等	13,605	3,528
賞与引当金	10,030	25,470
その他	211,503	213,027
流動負債合計	1,263,799	1,294,112
固定負債		
社債	42,900	39,350
長期借入金	901,052	1,043,773
リース債務	64,389	71,856
退職給付に係る負債	31,379	38,785
その他	8,621	8,351
固定負債合計	1,048,343	1,202,116
負債合計	2,312,142	2,496,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	439,098	338,753
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	565,760	465,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	△7
その他の包括利益累計額合計	△17	△7
新株予約権	6,489	6,489
非支配株主持分	10	10
純資産合計	572,242	471,908
負債純資産合計	2,884,384	2,968,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,348,407	1,378,889
売上原価	1,151,744	1,169,669
売上総利益	196,662	209,219
販売費及び一般管理費	238,463	279,497
営業損失(△)	△41,800	△70,278
営業外収益		
受取利息及び配当金	264	107
受取賃貸料	1,967	2,454
受取和解金	3,992	-
為替差益	-	866
その他	6,295	5,030
営業外収益合計	12,519	8,459
営業外費用		
支払利息	5,066	5,163
不動産賃貸費用	1,126	2,149
為替差損	3,235	-
その他	10,889	2,869
営業外費用合計	20,317	10,183
経常損失(△)	△49,597	△72,002
特別損失		
固定資産除売却損	236	-
リース解約損	-	557
その他	372	-
特別損失合計	609	557
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,207	△72,560
法人税、住民税及び事業税	4,685	4,155
法人税等還付税額	△9,572	-
法人税等調整額	△2,138	1,297
法人税等合計	△7,024	5,452
四半期純損失(△)	△43,182	△78,012
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,184	△78,012

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△43,182	△78,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	10
為替換算調整勘定	1,233	-
その他の包括利益合計	1,194	10
四半期包括利益	△41,988	△78,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,989	△78,002
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	742,798	405,796	100,067	1,248,662	99,744	—	1,348,407
セグメント間の内部売上高又は振替高	118	261,742	1,799	263,660	3,541	△267,201	—
計	742,916	667,539	101,866	1,512,322	103,286	△267,201	1,348,407
セグメント利益又は損失(△)	46,142	25,973	2,723	74,839	△30,831	△85,807	△41,800

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業、冠婚葬祭事業者向け人材派遣事業、並びに冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業ならびに就労継続支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△85,807千円には、セグメント間取引消去14,159千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△99,966千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	747,478	409,342	96,849	1,253,670	125,218	—	1,378,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,336	238,931	1,769	243,037	2,813	△245,850	—
計	749,814	648,273	98,619	1,496,708	128,032	△245,850	1,378,889
セグメント利益又は損失(△)	65,853	△30,571	380	35,662	△13,390	△92,550	△70,278

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業、冠婚葬祭事業者向け人材派遣事業、並びに冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業ならびに就労継続支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△92,550千円には、セグメント間取引消去13,871千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△106,421千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。